

1 海洋観測結果 (8/5～6: 調査船「いばらき丸」)

- ・平面図を図2, 4～6に, 鉛直図を図3に示しました。
- ・水温は0m深で21～27℃台, 50m深で12～18℃台, 100m深で8～15℃台, 200m深で2～10℃台で, 会瀬～鹿島定線の200m以深で冷水が見られました (図2)。
- ・前月と比較すると, 表層では気温上昇の影響で昇温傾向でしたが, 黒潮流路が離れたことや, 冷水の南下により, 200m深を含む下層では広い範囲で降温傾向でした (図4)。
- ・平年と比較すると, 表層では平年並み～やや高め, 200m深では低め～やや高めでしたが, 全体としては平年より低い傾向が目立ちました (図5)。
- ・表層と下層にて, 北から由来と考えられる低塩分水が見られました (図6)。
- ・会瀬～鹿島定線では広く逆潮傾向でした。

2 本県周辺海面水温の現況 (図1)

- ・黒潮は犬吠埼の南東25マイルを東北東に流れ, 先月に比べて本県沿岸から離れました。
- ・本県海域は北からの低塩分水 (23～26℃) に広く覆われています。

3 今後1か月の見通し

- ・下層の冷水は今後も残るでしょう。
- ・表層水温は現在「平年並み～やや高め」ですが, 北由来の低塩分水が流れ込んでいることから, 今後顕著な昇温は見られないでしょう。
- ・1か月後の水温は, 表層で「**平年並み**」,
下層で「**やや低め～平年並み**」となるでしょう。

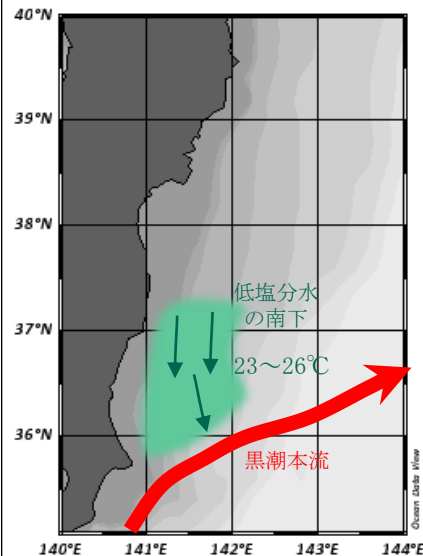


図1. 海面水温の現況
(8月7日)

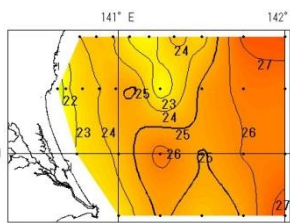
※水温は平年値と比較して,
±1.5℃が「平年並み」,
±1.6～3.9℃が「やや高め・やや低め」
±4.0～6.0℃が「高め・低め」
±6.1℃以上が「極めて高め・極めて低め」

(参考) 9月の0m水温 (東経142度まで) の30年平均 (1981-2010)

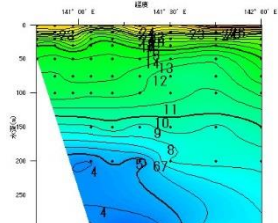
会瀬: 22～24℃台 大洗: 22～25℃台 鹿島: 23～25℃台 犬吠埼: 24～26℃台

詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

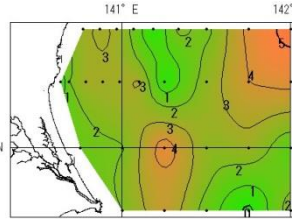
(回遊性資源部 外山 太一郎)



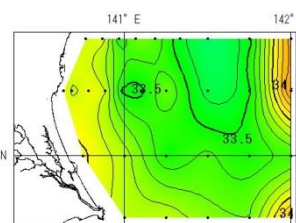
水深0m



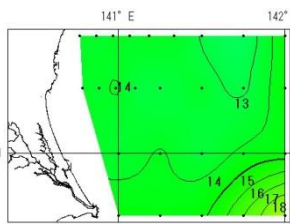
会瀬



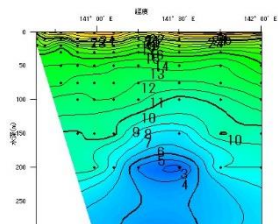
水深0m



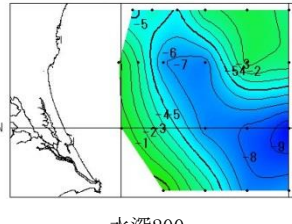
水深0m



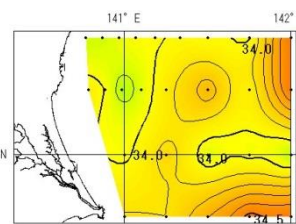
50m



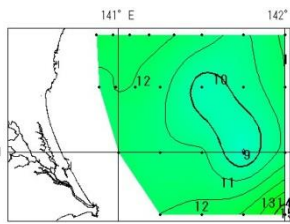
大洗



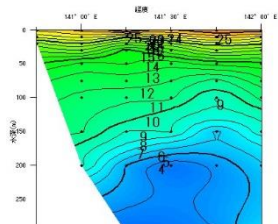
水深200m



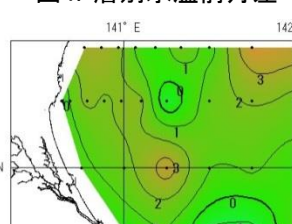
50m



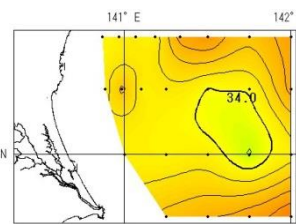
100m



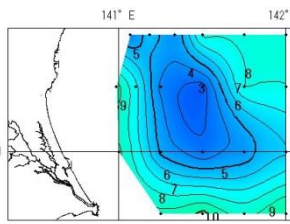
鹿島



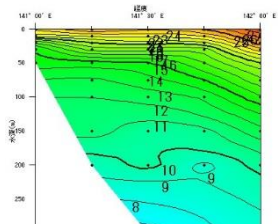
水深0m



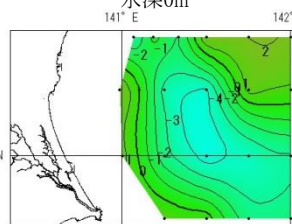
100m



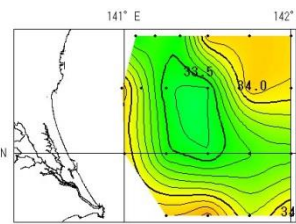
200m



犬吠埼



水深200m



200m

図2. 層別水温

図3. 鉛直水温

図4. 層別水温前月差

図5. 層別水温平年差

図6. 層別塩分